



11月のほけんだより

呉市役所 子育て施設課 0823-25-3144



令和4年 第264号

チョットまって!

その服、子どもに安全ですか?



かわいいデザインがたくさんある子ども服。どれを着せようかと迷ってしまいますよね。しかし、子ども服をデザインだけで選ぶのは要注意です。素材が肌に合わなかったり、洗濯しにくかったり、思わぬ事故につながったりとさまざまなトラブルの可能性があります。気をつけるポイントをおさえて、子ども服を選ぶようにしましょう。

チョット一言! ①

子どもの衣服調節の目安は?

- ☆暑いかどうか、背中に指を入れて確かめる。
 - ・子どもが暑がっているかな?と思ったら、首元から背中に指を入れて確かめましょう。暑いときは、汗でべっとりしています。サラッとしていれば問題ありません。外出先でも、寝ているときでも、指1本で簡単にチェックできます。暑いときは、1枚脱がせてあげてください。
- ☆寒いかどうかは、おなかや首元で確かめる。
 - ・寒いかどうかは、手足ではなく、おなかや首元を触って、ひんやりしているか、チェックしてみましょう。

「かわいい」だけで選ぶと思わぬ事故につながる可能性があります!

子ども服に関して思いがけない子どもの事故が起きています。着ていた服のひもやリボン、フードなどがドアや家具、遊具に引っかかって、転倒したり宙づりになったり…。死亡例も報告されています。子どもが着る服を選ぶ時は、デザイン性や快適性のほかに、安全性もよく考えて選びましょう。“安全”に絶対はありませんが、より安全な服を選びましょう。

子どもの動きを考えて

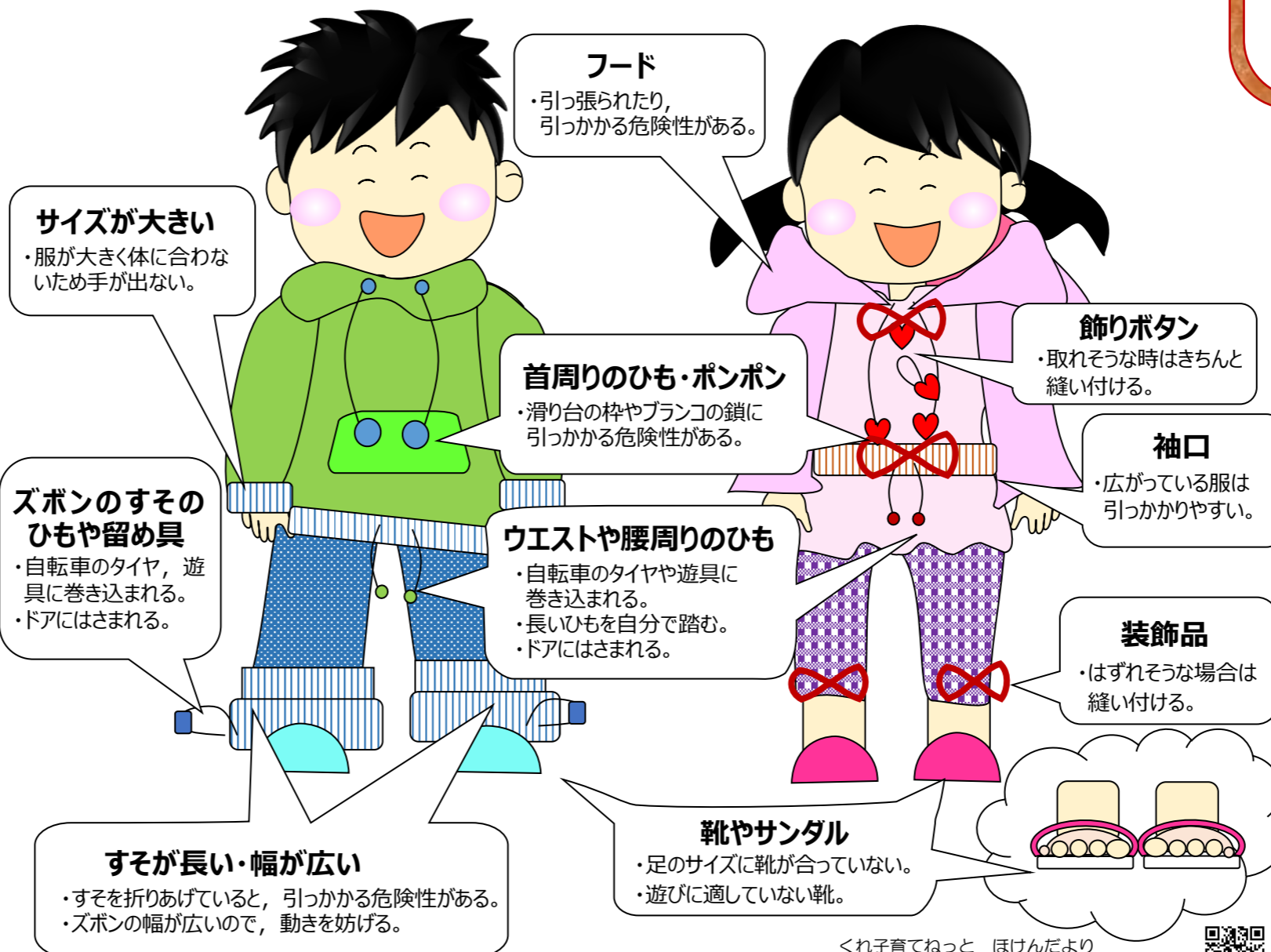
☆子どもは、大人が想像する以上に激しく動きます。走ったり、飛び跳ねたり、勢いよくしゃがんだり、あるいは遊具によじ登ったり、駆け上がったり、下ったり、周囲の凹凸につまづいたりする可能性もあります。いま一度、衣服を身につけた時に、引っかかったりしないかどうか、想像してみましょう。



チョット一言! ②

子どもの服は子どもの肌に合った素材を選ぶ!

- ☆肌にやさしい素材を選ぶ!
 - ・子どもは大人よりも皮膚が薄いので、外からの刺激に敏感です。かゆみが生じるような素材の服を着てしまうと、子どもは無意識にかいてしまうので、炎症を引き起こす可能性があります。
- ☆伸縮性を意識して選ぶ!
 - ・伸縮性を意識して選ぶこともおすすめです。伸縮性があると、着せるときや子どもが自分で着るときなどに着やすくなります。また、子ども自身も窮屈さがなく動きやすくなるので、着るのを嫌がる心配もありません。
- ☆通気性を意識した素材を選ぶ!
 - ・子どもは体温が高く、汗をかきやすいので、通気性の悪い服や乾きにくい服を着てしまうと、肌荒れを起こす危険性があります。子どもの肌は繊細なので、通気性に優れているガーゼ素材の服や、吸湿性に優れている綿素材の服を選びましょう。



これからの季節の服選び

- ☆下着を着ていますか?
これからの季節寒くなると、暖房や加湿器を使い暖かい部屋で過ごす事が多くなります。身体を動かすことが多い子どもたちにとって、汗を吸うことが出来ない裏起毛やフリースを直接身につけると、汗がそのまま肌に残り、風邪をひいたり、湿疹など皮膚のトラブルの原因になることがあります。下着を着用しましょう。(厚めの下着は子どもの動きを妨げます。)下着は保温や吸湿性に優れた綿素材のものがおすすめです。
- ☆下着の上に着る服は?
綿の長袖シャツ、更に寒くなってきたら上着を羽織ったり、トレーナーなどを重ねましょう。

